

はじめに

研究開発戦略センター（CRDS）は、国内外の社会、科学技術イノベーションの動向およびそれらに関する政策動向を把握・俯瞰・分析し、これに基づき、課題を抽出し科学技術イノベーション政策や研究開発戦略の提言およびその実現に向けた取組を行っている。

「研究開発の俯瞰報告書」（以下、俯瞰報告書）は、CRDSの重要な活動の一つである俯瞰活動の成果をとりまとめたものである。CRDSは2003年の設立以来、科学技術分野を広く俯瞰し、重要な研究開発戦略を立案する能力を高めるべく、その土台となる分野俯瞰の活動に取り組んできた。俯瞰報告書では、さまざまなステークホルダーとの継続的な対話や各種データの把握・分析等を通じて、最新の研究開発状況や重要課題、今後の研究開発の方向性や社会へのインパクトなどをCRDS独自の視点でまとめている。俯瞰報告書は主に研究開発戦略立案の基礎資料・根拠資料として、国および関係機関において活用されている。

俯瞰報告書は2年ごとを目途に改訂して発行している。このたび発行する「研究開発の俯瞰報告書 研究開発の新しい動向（2016年）」は、2015年俯瞰報告書を必要に応じて補うとともに、2015年4月発行以降、新たに注目される研究開発のトレンド、トピックなどについて取り上げ、テーマ毎に研究開発動向等をまとめたものである。取り上げた事項は、各分野で今後重要な課題になると考えられるものであり、来年発行する予定の2017年俯瞰報告書において再度各分野の全体像の中で位置づけを論ずることとなるものである。

2016年4月

国立研究開発法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター